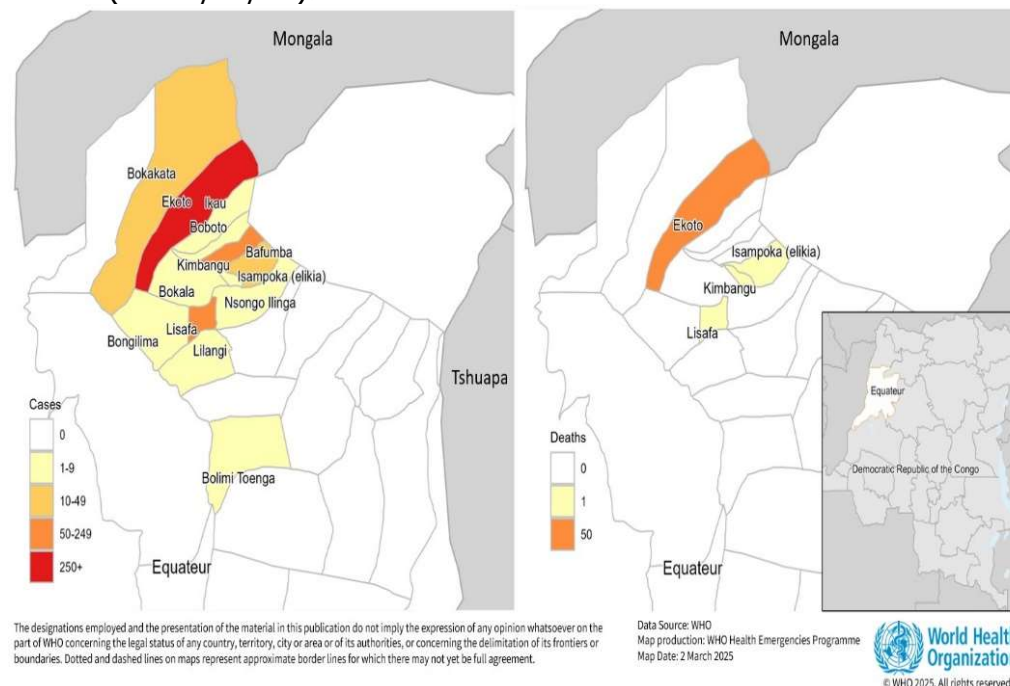


## コンゴ民主共和国における原因不明の疾病について（2025年2～3月）

- ・2025年2月9日、コンゴ民主共和国赤道州バサックス保健地区の地元当局は、原因不明の疾病の報告を受けた。
- ・2月25日までに、発熱、呼吸器症状、消化器症状等を呈した1318例が報告・うち53名が死亡（最終死亡2月22日）。
- ・2月13日に発表された最初の検査結果では、エボラウイルスとマールブルグウイルス陰性。
- ・検査を受けた症例のマラリア陽性率が高い（迅速検査で約50%が陽性）。
- ・3月3日、WHOは、現時点では、この地域では一般的な感染症（特にマラリア）が風土病としてまん延しており、それに加えて、局所的な発生状況、集団感染における死亡者の臨床像と症状発現から死亡までの速さを考慮すると、化学物質による中毒または細菌性髄膜炎が生じていることが主な原因として考えられる旨を公表。

<出典：WHO Disease Outbreak News (2025/3/3)>



# コンゴ民主共和国における原因不明の疾病について（2024年11～12月）

- ・2024年11月29日、コンゴ民主共和国クワンゴ州パンジ保健地区の地元当局は、熱性疾患による特に5歳以下の子どもの死亡増加を受けて警報を発令。
- ・12月16日までに、咳、体力低下、急性呼吸器症状、発熱等を呈した891例が報告・うち48名が死亡。
- ・12月16日までに合計430検体が検査され、マラリア、一般的な呼吸器系ウイルス（※）陽性と判明。  
※インフルエンザA(H1N1、pdm09)、ライノウイルス、SARS-COV-2、ヒトコロナウイルス、パラインフルエンザウイルス、ヒトアデノウイルス。
- ・12月27日までに得られた検査結果から、マラリア、一般的なウイルス性呼吸器感染症、急性栄養不良の組み合わせが重篤な感染症と死亡増加につながり、5歳以下の小児に影響を及ぼしていることが示唆される旨を公表。

<出典：WHO Disease Outbreak News (2024/12/27)>

## 参考：マラリアに関する基本情報

- ・ 主な症状は、発熱、悪寒、頭痛、嘔吐、関節痛、筋肉痛等。
- ・ 潜伏期間は、1週間～4週間。
- ・ マラリア原虫をもった蚊（ハマダラカ属）に刺されることで感染する病気
- ・ マラリアには予防薬あり。マラリアと診断されたときは抗マラリア薬を投与。



The designations employed and the presentation of the material in this publication do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of WHO concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Data Source: World Health Organization  
Map Production: WHO Health Emergencies Programme  
Map Date: 13 December 2024

World Health Organization  
© WHO 2024. All rights reserved.